

<第4658回>

目的地：長老ヶ岳（丹波）

担当者：白神

実施日：2025年11月22日（土）

形 式：マイカー山行（車2台 4名乗車+3名乗車）

費 用：¥2,000

参加者：7名

天 気：曇り

行 程：

道の駅丹波マークス[集合] (9:05) ⇒ (9:45) 長老ヶ岳登山口 (9:55) ⇒ (10:40) 長老ヶ岳森林公園 (10:45) → (11:15) 東屋 (11:20) → (12:10) 上乙見分岐 → (12:20) 長老ヶ岳山頂 (13:05) → (13:25) 林道合流 → (14:50) 七色の木 (14:00) → (15:05) 長老ヶ岳登山口 (15:10) ⇒ (15:35) 道の駅和[買い物・解散] (17:20) → (18:10) JR 山崎駅

感 想：

登山口から森林公園までは車道歩きです。森林公園でひと息ついた後ここからは登山道。非常によく整備されていてとても歩きやすいです。紅葉はほぼ終わりかけていましたが、時々鮮やかに色着いた木が残っていて、ふと立ち止まつたりもしました。

山頂からは360°の展望です。若狭方面から氷ノ山、京都北山方面まで見渡せます。この付近からあまり山を眺めたことがないので、地図やアプリを見ながらどの山かをみんなで探しました。分かりやすかったのは双耳峰の青葉山位ですかね。

今日は長老ヶ岳の左回りの周回コース。山頂からしばらく続くなだらかな稜線には大きなイワカガミの群落がたくさんありました。私のイメージではイワカガミは登山道の脇に沿って線で咲いているイメージがあるのですが、ここのイワカガミの群落は面です。これは是非花が咲いた時に見てみたい。少し急な登山道を下って、車道と合流。ここからは長い車道歩きです。熊のこともありますので、なるべく離れないように歩きます。登山口の駐車場の近くをちょっと脇道にそれて、七色の木という七種類の木が共生している珍しい木を見にいきました。確かになんなくジブリの映画に出て来そうな雰囲気の木と場所でした。残念ながら、沢にかかる木の橋が濡れていて滑りやすかったので全員で木の下まで行って記念撮影とはいきませんでした。

駐車場に戻り、本日の第二のミッション、道の駅和栗三昧フェアを目指して出発です。道の駅ではそれぞれに栗パフェや栗どら焼きを食べたり、果物やお土産を買ったり。マイカー山行なので荷物が重くなるのもあまり気にしなくても済みます。そして駐車場で解散した後それぞれの車に乗り込んで一路帰途へ。

特記事項

仮想のバス停から先、登山口までの車道は非常に狭いです。車がすれ違うことはほとんど出来ません。どちらかの車がバックして離合出来る場所に行く必要があります。またガードレールもほとんど付いていませんので、脱輪にも注意が必要です。

登山口駐車場から森林公園までも車の通行は可能ですが、こちらも道は非常に狭く、ガードレールはほとんどありません。誤って谷側へ外してしまうと真っ逆さま。運転に自信のある方以外は森林公園まで車で行くのはあまりお勧めできませんね。